



共通体験がつなぐ心

# 令和6年度 1月の園だより



くまの・みらい保育園

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えました。今年は災害もなく穏やかな年になりますことを、心より祈っております。

昨年の終わりに、とこ先生こと、戸川幸一郎先生に講演会に来ていただきました。最初はワークショップでパスを使って親子で太い線、細い線、ぐにゃぐにゃな線を描いて、一緒に遊びました。次はテーブルごとにいろんな形が貼ってある画用紙の紙の上を、パスをねかせて、いろんな色でたくさん線を描いて遊びました。みんなで線あそびをした紙は、たくさん色が重なってとてもきれいでした。それを好きな場所を切り取って、クリスマスツリーの形にくりぬいた色画用紙に貼り付け、一人ひとりのツリーの完成です。お母さんもお子さんも作品を作る間、笑顔いっぱい楽しい時間になりました。親子で、また同じテーブルの人と一緒に同じことをして遊ぶ、そこから作品ができたことは、とても嬉しい体験になりました。とこ先生はそのあと「共通体験がつなぐ心」というテーマで講演をしてくださいました。その中で、『今は自殺者が多くなっている。昔みたいに集まって井戸端会議をすることもなくなっている時代。ネットなどでの情報は多く、たくさんのことをインプットされるが、アウトプットされることが少ない。だから独りよがりになってしまうのです。心からやりたいことを見つけて、やってみる、ひとりではできないことも一緒にやってもらうことで、今度はやってあげたい気持ちになり、その輪が広がっていくのです。』

また共同注視と言って、親子で同じものを見る、赤ちゃんの指さしたものを一緒に見る時、「〇〇だね」「きれいだね」と同じ気持ちになることで、赤ちゃんは言葉を覚えたり、視野を広げていきます。思いを受け止めてもらうことで愛着形成が構築されるのですが、これも共通体験につながるのではないのでしょうか。『子どもが注目しているものを一緒に見たり、大人がやり

たいことをにこにこしてやっている姿を子どもに見せてあげましょう。そうすることで、子どもは幸せになるのです』という話もしていただきました。

いつも忙しくされているお父さんお母さんも、好きなこと、趣味やスポーツなどされている時には楽しくて集中するのではないのでしょうか。好きなこと、やりたいことを見つけて、大人も楽しい時間を作りましょう。忙しくて時間がないと諦めるのではなく、「今日は〇〇する日」と決めたり、時にはお子さんも一緒に共通体験ができるといいですね。

また先日のおもちつきには、たくさんのおじいちゃんおばあちゃんにお越しいただきまして、ありがとうございました。おじいちゃんが、ぺったんぺったんお餅をついてくださったり、おばあちゃんがきれいに餅を丸めてくださる姿に、子どもたちは嬉しくてたまらない様子でした。「よいしょ、よいしょ」と声をかけたり、年長さんは杵をもっておもちつきを体験し、小さいお友だちは粉だらけにしてお餅を丸めていました。世代の違うおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に楽しさを共有したことも、共通体験で、心がつながったように感じました。黒豆をむいてくれた子どもたちは、豆餅にも興味を示していました。「保育園でとれた黒豆です。子どもたちがむいてくれたんですよ。」と話すとおばあちゃんたちも、5粒ずつ手早く、心を込めておもちの中に入れてくださいました。餅つきの体験はなかなかできませんから1年に一度のおもちつきはとても大切な行事です。その体験で社会性が育ち、心の育つ行事だと考えています。

お正月も家族、親戚で集まっておせち料理を食べたり、凧揚げ、駒回し、かるたなど、みんなでわくわく楽しんだのではないかと思います。昔ながらの伝統行事を大切に、みんなで集まって群れで過ごす体験は大切です。いろいろなことに興味関心のある子どもたちです。季節ならではの体験など、子どもたちが考えたり工夫できる共通体験をたくさん考えていきます。

くまの・みらい保育園 園長

## 今年の干支

蛇は古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴になっています。こうした意味から、蛇年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年と解釈されています。

## 七草がゆ

お正月過ぎて、7日の朝食に七種類の野菜を入れた粥を食べます。早春野山に咲く若草を食べる事によって、自然界から新たな生命力を得ることができ、無病息災で長生きできると言われています。また、七草には、消化を良くする成分やビタミンCがふくまれているので、お正月のご馳走で弱り気味の胃を少し休めようと言う知恵から始まったとも言われています。



## 鏡開き

1月11日は鏡開きです。

お正月にお供えしたお餅を割り、お汁粉などにして頂きます。お餅を割る時に、1年の健康をお祈りすると元気に過ごせると言われています。園児の健やかな成長を願って、園でも11日におやつにおしるこをいただきます。

## 落花生の収穫



らっかせいができてきたよ！  
「これどうやって食べるの？」  
食べることを楽しみにしている子どもたちです。

## 黒豆について



黒豆は、おせち料理に代表的な料理の材料の一つで、祝い肴三種のひとつです。（祝い肴三種：関東では、黒豆、数の子、田作り）  
「まめに心を配って生活する」「まめに暮らせるように」という願いが込められています」

### 黒豆の意味は

- 「よく働く」
- 「太陽を意味する」
- 「精を出してよく働き、体が丈夫なこと」
- 「一年間の厄払いをして、今年一年元気で働けるように」
- 「お正月に黒豆を食べ、健康で1年を元気で過ごす。」
- 年のはじめに本当に縁起がよくなる食べ物です。熊野町の特産でもあります。しっかり黒豆を食べて1年間元気に過ごしましょう。



## みらい文庫カフェ



たくさんのお親子が絵本をかりに来てくれました。マドレーヌとコーヒージュースでほっと一息できましたね。

## もちつき



おばあちゃんがきってくれたおもち、くるくるきれいにまるめました。「やわらかくてきもちい〜い。」